

県南地方会議 過疎・中山間地域振興事業（“ひがししらかわ” 元気づくり支援事業）

県南の現状

若年層の流出や高齢化の進行による地域担い手の減少。特に、全域が過疎・中山間地域である東白川郡が顕著。

- 人口減少率 H22 → R6 : (県南地方全体) △11.5% **(東白川郡) △21.5%**
- 高齢化率 H22 → R6 : (県南地方全体) 33.0% (②23.8%) **(東白川郡) 39.0% (②28.9%)**
- 観光客入込客数 R5 - R元: (県南地方全体) △461千人 **(東白川郡) △199千人**

令和7年度の目標

- 東白川郡における観光客入込客数 1,117千人 ※R元(1117千人)×1.0
- 県南地域への定住・二地域居住者数 320世帯
(県南地域への移住H22:7世帯 ⇒ R5:293世帯 約41.8倍)

令和7年度事業の展開 ～持続可能な里山社会の実現～ 予算総額 367,186千円



課題

○新たな視点による地域資源の発掘や、地域との連携による交流人口の拡大

○移住に係る多様なニーズへの対応

○地域ニーズに合った人材の確保
○地域づくりや産業振興を担う地域の担い手の育成

【人と地域】地域資源を活用した交流人口拡大

令和6年度の取組・成果

1 ひがししらかわ魅力発信事業

- 東白川郡において、水郡線全線開通90周年を記念した特別列車運行（郡山～磐城高間）や、キャンプ場（棚倉・鮎川）でのテントサウナレンタルサービスを実施

2 しらかわ“ならでは”ツーリズム推進事業

- 人手不足で困っている事業者と、地方に興味のある方々をマッチングさせる既存の「お手伝い＋旅」プラットフォーム「おてつたび」を活用し、管内6事業者（旅館、農業法人等）において、県内外から計15名を受入
- 観光シンクタンク（じゃらんリサーチセンター）と連携し、GPSを駆使した動態調査や台湾向けファムトリップを実施（10月21日～23日、台湾人有識者3名）

3 ひがししらかわ地域間交流・地域づくり促進事業

- 県土連携軸の国道289号等について、江竜田工区等の事業化を推進
- 埴町上石井地区久慈川環境整備による交流人口の拡大

4 しらかわ地域農林業資源活用事業

- 首都圏の消費者や学校による農林業体験の受入れ支援、グリーン・ツーリズム受入側の研修、農業体験メニュー表の更新、ポータルサイトの開設
- 6次化商品のPR活動を実施（全6回）

5 しらかわ地域づくり活動促進事業

- サポート事業や地域おこし協力隊等の成果共有を行う元気づくり交流会を開催



テントサウナレンタル



おてつたび



6次化商品のPR活動

【くらし】定住・二地域居住の推進

6 首都圏からの移住推進&就職先マッチング支援事業

- 「しらかわ地域に特化した転職サイト」を運営し、県南の企業の魅力や求人情報を首都圏等に発信するとともに、求職者と企業とのマッチング支援を行う運営事務局を設置（企業情報掲載83社、相談件数36件（うち内定10名、R5～相談継続案件含む））
- 採用企業向けに採用課題抽出、改善内容提案などの伴走支援を実施（4社）

7 しらかわスタイル 定住・二地域居住推進事業

- 県南地方への移住実績（229世帯345名、12月末現在）
- 首都圏やオンラインでのセミナー開催（2回）、移住者定着支援に向けた座談会実施



移住者向けWEB媒体へ
マッチング支援PR記事出稿

【こども】次代を担う若者の定着・還流

8 “ひがししらかわ” 輝くふる郷体験事業

- 農業や地域産業、伝統文化等の体験活動を実施（8小学校・896名）

9 “ひがししらかわ” 未来の医療を守る人材育成事業

- 小学生のうちから東白川郡の医療の実情を知り、関心を高めてもらうため、医療や介護の現場での体験を交えた親子学習会を、感染症対策を講じて開催（8月1日：東白川郡小学生親子5組11名参加）
- 地域医療の担い手育成のため、県立医大とタイアップした医学生の実験型実習と医療の現場観察や地域住民との交流などの地域医療体験研修を開催（9月25日～27日：福島県立医科大学医学部3年生14名参加）

10 “ひがししらかわ” 建設人材育成事業

- 小学生を対象とした建設現場見学会を実施（埴小、鮎川小、矢祭小 計120名）
- 小中学生を対象とした防災出前講座を実施（社小、近津小 計45名）



伝統文化継承体験



地域医療体験研修



ドローン操縦体験

【人と地域】地域資源を活用した交流人口拡大

【くらし】定住・二地域居住の推進

【こども】次代を担う若者の定着・還流

1 ひがししらかわ魅力発信事業（継続）★1,953千円

- 東白川郡に眠る地域資源を斬新な視点で切り出し、県内外へ情報発信し誘客促進
- 重要な地域資源の一つである水郡線についても利活用に向けたPRを展開
- 首都圏等に向けての観光PR及び商品の販路拡大

2 ひがししらかわ地域間交流・地域づくり促進事業（継続）344,600千円

- 中山間地域の生活道路である勿来刈川線等について、道路改良を推進し、地域間交流を促進
- 橋梁の耐震対策などを推進することによる、災害時の道路寸断による集落孤立化を防ぐ

3 しらかわ地域農林業資源活用事業（継続）★987千円

- 首都圏からの農林業体験の受入れ支援、グリーン・ツーリズム受入側の研修
- 農業体験の希望者と受入側のマッチングを可能とするポータルサイトを活用した情報発信の強化
- 地域の特産品を活用した6次化商品のPR活動を実施

4 しらかわ地域づくり活動促進事業（継続）★34千円

- サポート事業や関連事業等の効果的な事業執行を図るため成果共有を行う交流会を開催

5 首都圏からの移住推進&就職先マッチング支援事業（継続）10,000千円

- 「しらかわ地域に特化した転職サイト」を運営し、県南の企業の魅力や求人情報を首都圏等に発信するとともに、求職者と企業とのマッチング支援を行う運営事務局を設置
- 首都圏で開催される移住希望者を対象としたフェアやふるさと福島就職情報センター等において、「転職・仕事」を切り口とした情報発信・相談受付を行い、移住世帯の増加につなげる
- 移住希望者や求職者のニーズに対応できるよう、個別の企業の採用課題解決をサポート（伴走支援）
- 過年度の伴走支援事例等を横展開し、地域に波及させるための伴走支援実施企業の成功事例の勉強会等を開催

6 しらかわスタイル 定住・二地域居住推進事業（継続）5,079千円

- しらかわ地域の一元的な移住相談窓口の設置、公式HPやLINEによる細やかな情報発信
- 首都圏等での相談会・セミナーの実施、既移住者の定着支援

7 “ひがししらかわ” 輝くふる郷体験事業（継続）★1,721千円

- 子どもたちが生まれ育った地域のよさを知り、郷土を愛する心を持って、地域の将来を支える担い手となるよう、農業や地域行事、伝統文化等の体験活動、地域貢献活動及び交流活動を実施

8 “ひがししらかわ” 未来の医療を守る人材育成支援事業（継続） 2,312千円（うち★805千円）

- 小学生のうちから東白川郡の医療の実情を知り、関心を高めてもらうため、医療や介護の現場での体験を交えた親子学習会を開催
- 地域医療の担い手育成のため、県立医大とタイアップし、医学生の実験型実習として地域医療の現場観察や地域住民との交流などを学ぶ地域医療体験研修を開催

9 “ひがししらかわ” 建設人材育成事業（継続）★500千円

- 地域の子どもたちに建設業に対する興味や関心を高めるとともに、将来の建設業を担う人材を育成するため、小中学生を対象とした建設現場見学会を開催
- 建設現場見学会は、建設業の魅力や重要性に加え、3次元測量等の新技術も学べる場とする

※ ★印は県戦略事業（過疎・中山間地域振興事業）の予算を使用するもの（計6,000千円）